



# 地域防災担い手育成のため、事務所職員を講師として派遣！ ～敬和学園大学への出前講座を開催～

6月7日、新潟県新発田市に立地する敬和学園大学が開講している『地域産業論』という講義に若手職員を派遣しました。

講義は、若手職員がこれまでの職務経験や、令和4年8月3日からの大雨による対応や砂防施設の効果を説明し、その後に学生より質問を受ける形で進められました。学生から、日常業務や災害対応から仕事以外のことまで幅広い質問がありましたが、全ての質問にわかりやすく丁寧に答えていました。

あわせて、敬和学園大学と連携した地域防災担い手育成の一環として、事務所職員による砂防・防災に関する講義を行いました。学生は、未来の砂防事業サポーターを目指すべく、真剣な眼差しで講義に聴き入っていました。



砂防施設の効果を説明する職員



講義のあとの質問に答える様子



砂防と防災の話に聴き入る学生